

ご参加のみなさまへ(1/2)

Zoom表示名の変更にご協力ください

ご自身の**Zoom表示名**を、**申込み時の所属と氏名**にご変更をお願いします。

カタカナでも構いません。

<変更方法>

1. 「参加者」から自分の名前をタップ→「**名前の変更**」
2. 新しい名前を入力して「完了」をタップ



ご参加のみなさまへ(2/2)

1. 本日の事例共有会パートについては録画し、後日公開予定です
2. 事例共有会中は、恐れ入りますが録画・録音・写真撮影はお控えください（資料は後ほど共有します）
3. ご説明の内容は、本日時点での情報です。改善や見直しにあたり、予告なく変更となる場合があります
4. お困りのことがありましたら、Zoomチャットでご連絡ください
5. ミュートでお願いします

本日の流れ

14:00-15:00

事例共有会

1. 保育園こども食堂への期待

こども家庭庁成育局 保育政策課企画法令係長 松田洋平様

2. アンケート結果共有

認定NPO法人フローレンス 岡野優華

3. 事例共有

社会福祉法人檸檬会レイモンド大萱こども園施設長 中島悦子様

信州こども食堂ネットワーク中南信地域 田口恵子様

認定こども園深志理事長 海野暁光様

4. 今後の予定&質疑

15:00-15:30

意見交換会

事前
申込制

申し込んでいないけど参加したい方も、お気軽にメッセージにてお申し付けください😊

本日の流れ

14:00-15:00

事例共有会

1. 保育園こども食堂への期待

こども家庭庁成育局 保育政策課企画法令係長 松田洋平様

2. アンケート結果共有

認定NPO法人フローレンス 岡野優華

3. 事例共有

社会福祉法人檸檬会レイモンド大萱こども園施設長 中島悦子様

信州こども食堂ネットワーク中南信地域 田口恵子様

認定こども園深志理事長 海野暁光様

4. 今後の予定 & 質疑

15:00-15:30

意見交換会

事前
申込制

申し込んでいないけど参加したい方も、お気軽にメッセージにてお申し付けください😊

本日の流れ

14:00-15:00

事例共有会

1. 保育園こども食堂への期待
こども家庭庁成育局 保育政策課企画法令係長 松田洋平様
2. アンケート結果共有
認定NPO法人フローレンス 岡野優華
3. 事例共有
社会福祉法人檸檬会レイモンド大萱こども園施設長 中島悦子様
信州こども食堂ネットワーク中南信地域 田口恵子様
認定こども園深志理事長 海野暁光様
4. 今後の予定 & 質疑

15:00-15:30

意見交換会

事前
申込制

申し込んでいないけど参加したい方も、お気軽にメッセージにてお申し付けください😊



保育園を起点とした

食支援活動の事業者アンケート結果

地域をつなぐ

「保育園こども食堂」

2024.5.28

子どもたちのために、日本を変える

Florence

「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」とは？

参考：R5年度 ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業

ひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業

支援局 家庭福祉課

令和5年度補正予算：25億円

1. 事業の目的

困窮するひとり親家庭を始めとする要支援世帯のこども等を対象とした、こども食堂、こども宅食、フードパントリー等を実施する事業者を対象として広域的に運営支援、物資支援等を行う民間団体（中間支援法人）の取組を支援し、こどもの貧困や孤独・孤立への支援を行う。

2. 事業の概要

【1】国⇒中間支援法人

■こども食堂等の事業者を対象として広域的に支援を行う中間支援団体を公募し、選考委員会を開催した上で対象事業者を決定。

【2】中間支援法人⇒こども食堂等

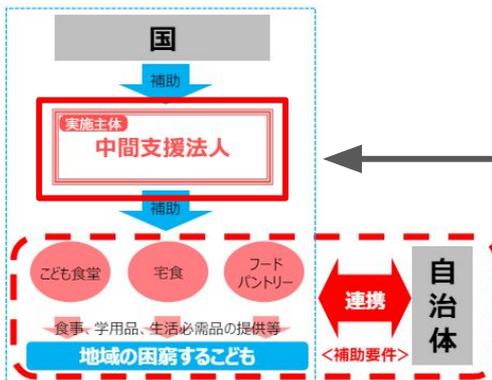
■こども食堂等から申請を受け付け、選考委員会を開催し助成対象事業者を決定。自治体との連携を補助要件とし、事業実施に必要な費用を助成（上限350万円）。

■助成対象事業者の活動状況について確認を行い、必要に応じて、活動内容等に対してアドバイスをを行う。

■事業の実施結果について報告を求め、適正な執行が行われたかの確認を行う。

【3】こども食堂等⇒ひとり親家庭等のこども

■ひとり親家庭等のこどもに食事の提供等を行う。



自治体を経由せず、国から直接、中間支援法人を経由して補助する仕組み

経験やノウハウのある非営利団体であるフローレンスが「中間支援法人」として

1. 必要な費用の助成
2. ノウハウ提供を行いました。

※R6年度も同様の事業が実施されます。現在、中間支援団体として申請をしています。

3. 実施主体等

【実施主体】 特定非営利活動法人、一般社団法人等の非営利団体 【補助基準額】 1法人当たり：350,000千円

【補助率】 定額（国：10/10相当）

5

助成対象とした事業／活動類型

重要な観点として「**保育園での食支援から地域の子育て家庭とつながる**」を実現するために、

どのような手法をとっているか によって4つの活動に分類し、助成しました。

A

保育園こども食堂

保育園で調理した食事やお弁当を、保育園で提供する。食事をしながら、ご家庭の状況を伺い、困難を抱えるご家庭の相談に応じたり、適切な支援につなげる。

B

保育園でのフードパントリー

保育園に訪問してくれた要支援家庭等に食材や生活必需品をお渡しする。その際、ご家庭の状況をお伺いしながら相談に応じたり、適切な支援につなげる。

C

**保育園を起点とした宅食
(訪問手渡し型・配送型)**

保育園こども食堂等で繋がった要支援家庭等へ食材や生活必需品を届ける。スタッフが訪問して手渡すか、郵送で届ける。ご家庭の状況をお伺いしながら相談に応じたり、適切な支援につなげる。

D

上記活動の組み合わせ

上記活動を組み合わせることにより、ご家庭との接点を増やし、状況に合わせて柔軟に支援を提供する。

調査実施概要

< 保育園こども食堂を起点とした食支援事業の事業者の取組み・活動効果に関する調査・分析 >

調査方法： こども家庭庁「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」の中間支援団体であるフローレンスがアンケートを作成。
食支援活動の実施団体に事業期間（23年7月末～24年1月末）終了後に回答を依頼。

実施概要： 事業者の活動状況と効果の調査

「保育園こども食堂等を起点とした食支援事業」を行う事業者を対象にアンケートを実施し、助成を通じた活動の現状や利用者に対しての効果やニーズを詳細に調査しました。

活動負荷および今後の期待についての調査

保育園こども食堂などの食支援活動における事業者の負荷など課題を把握したうえで、今後の活動計画や助成事業への期待も調査しました。

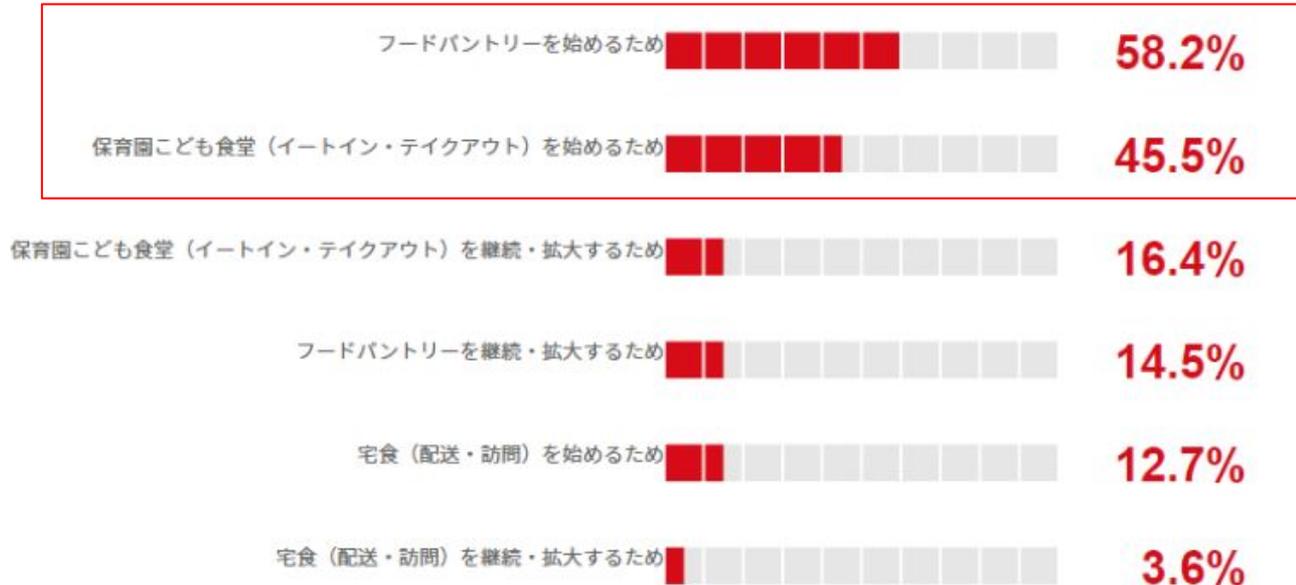
アンケート調査概要

項目	内容												
調査名称	「保育園こども食堂を起点とした食支援事業」に関するアンケート調査												
調査目的	<ul style="list-style-type: none">助成金を活用して保育園こども食堂などの食支援活動を実施した事業者の活動実態把握助成金の活用やニーズの把握												
調査方法	オンラインでのアンケート回答												
調査期間	2024年3月25日(月)～4月24日(水)												
調査対象	保育園こども食堂などの食支援活動実施者（中間支援法人：フローレンス経由）												
調査対象者数	72件												
調査対象者数内訳	<p>回答者：保育園こども食堂の助成金利用者</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>n</th><th>比率</th></tr></thead><tbody><tr><td>保育園事業者</td><td>55</td><td>76.4%</td></tr><tr><td>保育園以外の事業者</td><td>17</td><td>23.6%</td></tr><tr><td>全体</td><td>72</td><td>100%</td></tr></tbody></table>	項目	n	比率	保育園事業者	55	76.4%	保育園以外の事業者	17	23.6%	全体	72	100%
項目	n	比率											
保育園事業者	55	76.4%											
保育園以外の事業者	17	23.6%											
全体	72	100%											

事業実施のきっかけ

約半数が初めての取り組み

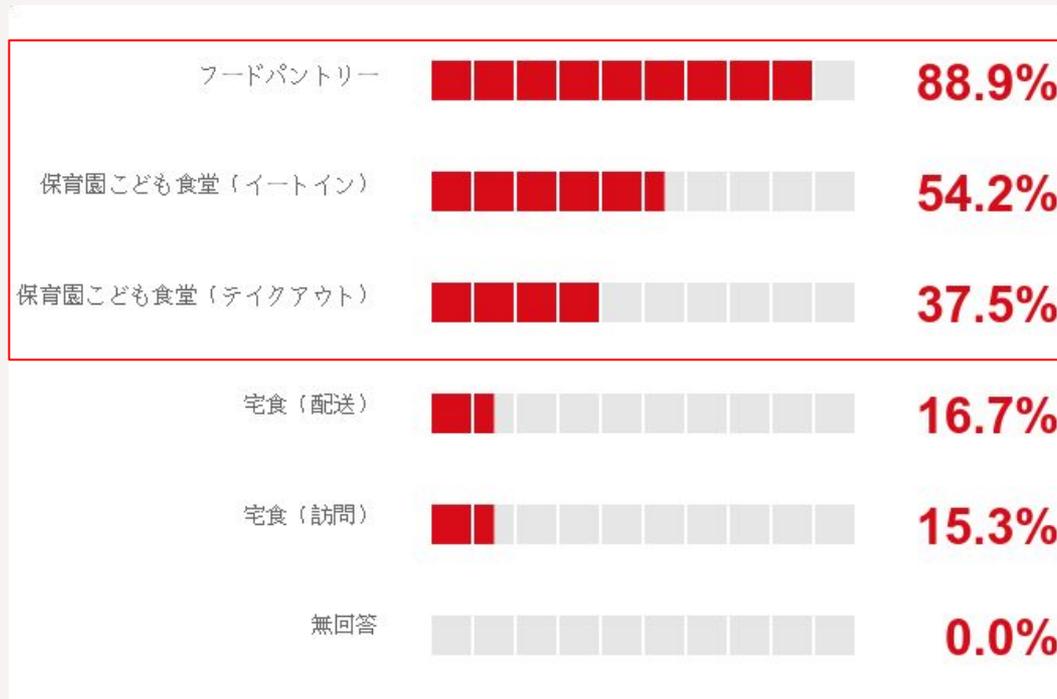
今回本助成金の申請に至った理由について教えてください



事業実施形態

こども食堂+パントリー（複合型）の実施が多い

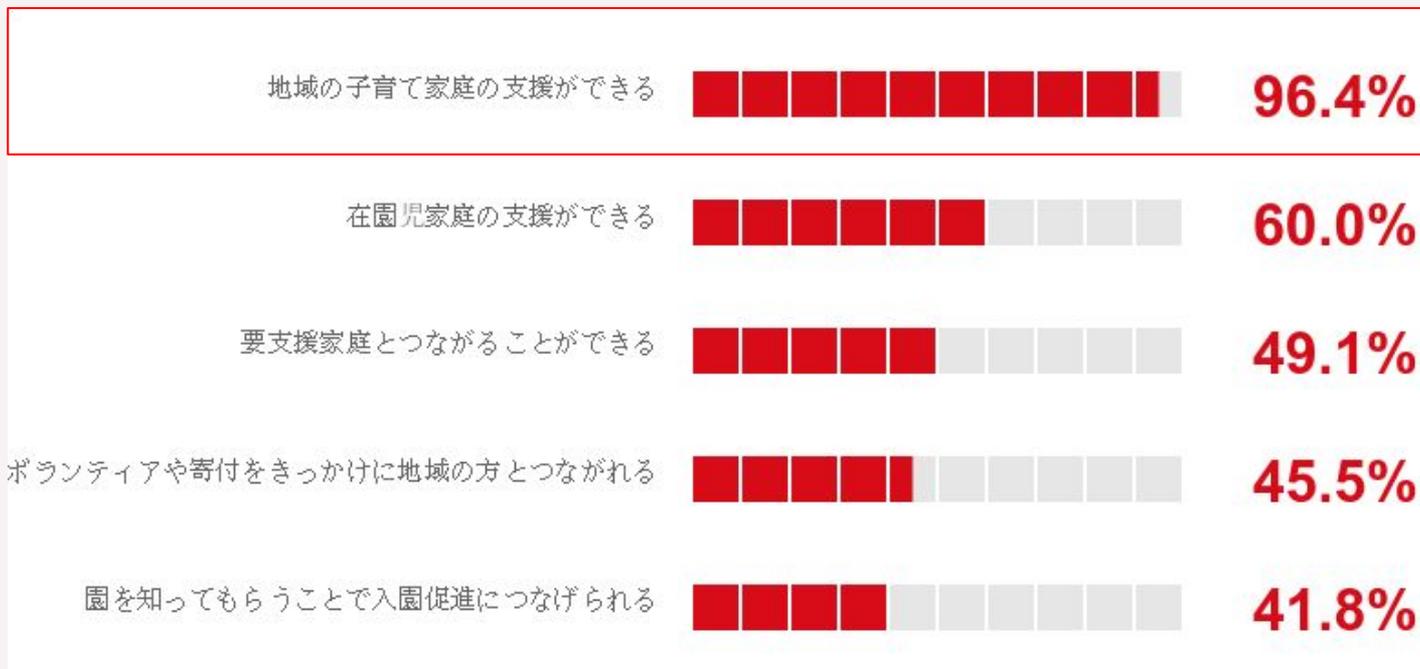
実施した活動類型は何ですか？



食支援事業への期待(1/2)

地域の子育て家庭の支援ができることへの期待が高い

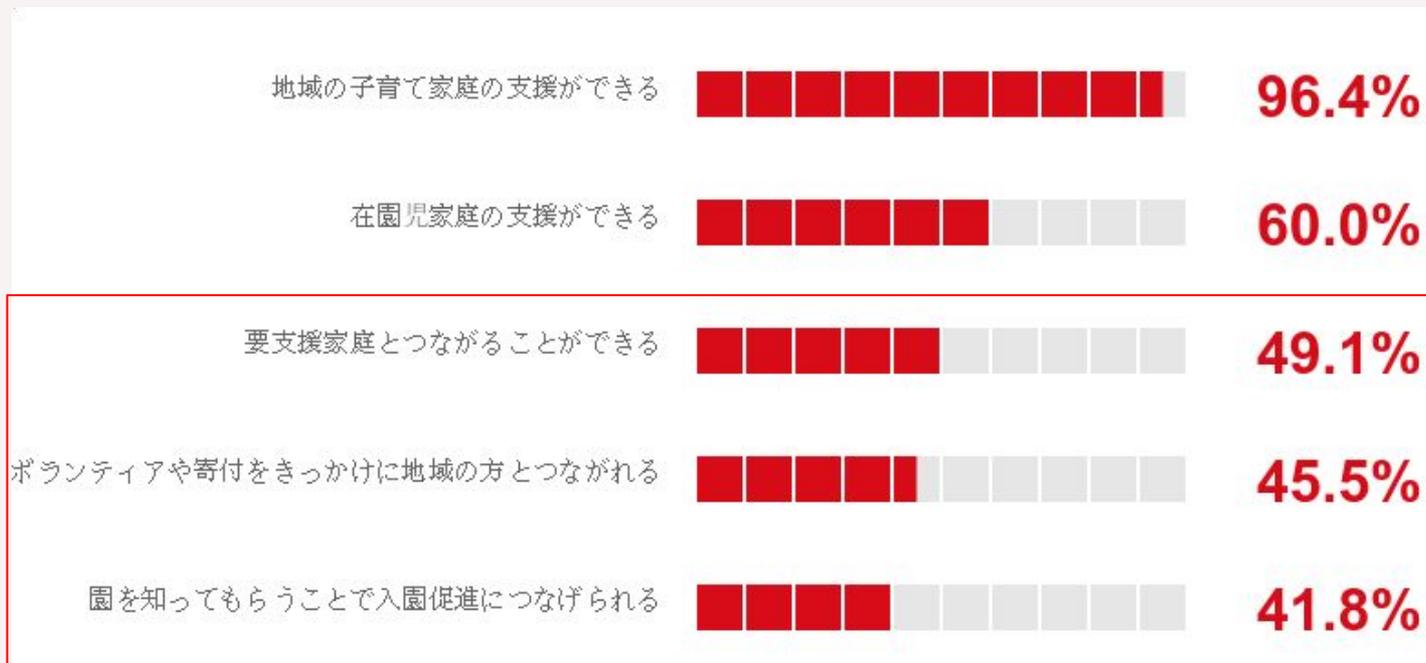
今回の助成事業を実施する前に、保育園を起点とした食支援活動に期待していたことを教えてください



食支援事業への期待(2/2)

要支援家庭との接続、地域連携、入園促進への期待も高い

今回の助成事業を実施する前に、保育園を起点とした食支援活動に期待していたことを教えてください

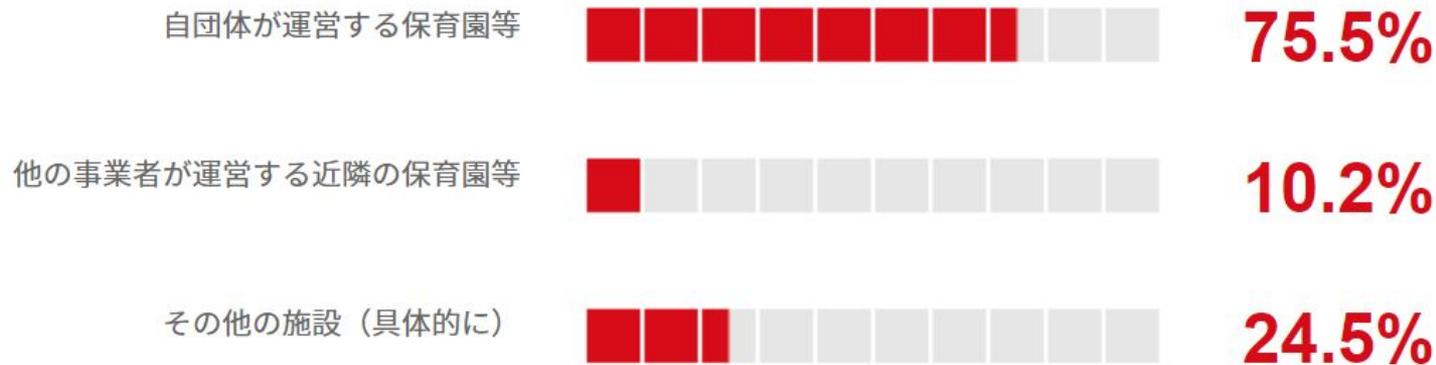


保育園こども食堂事業

保育園こども食堂事業の開催場所（1/2）

自団体が運営する保育園などがメイン

（保育園こども食堂を実施した場合）実施した場所はどこですか



次ページに詳細

保育園こども食堂事業の開催場所（1/2）

（自治体と連携するなど）地域の施設等でも実施している

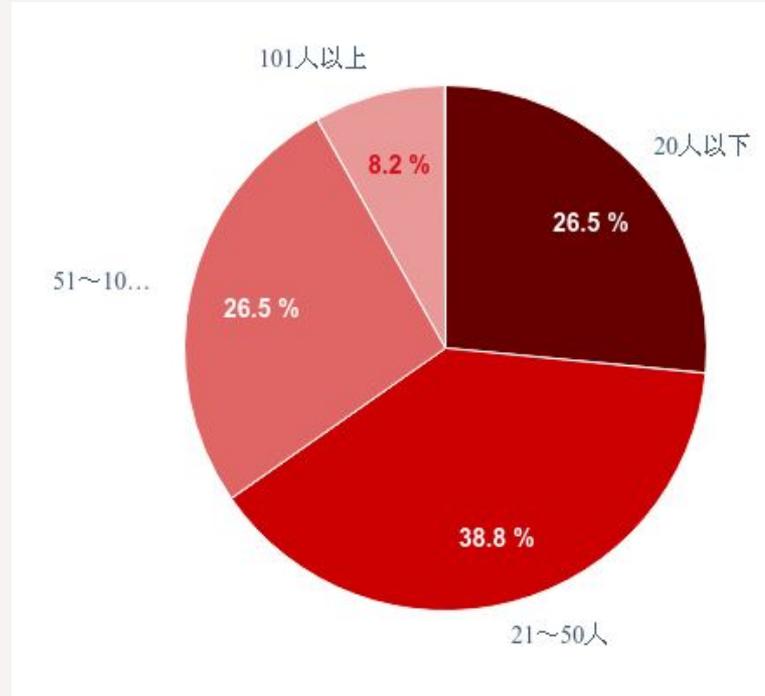
【その他の回答】 （保育園こども食堂を実施した場合）実施した場所はどこですか

- 学童保育施設
- 認定NPO法人が運営する地域交流拠点
- 小学校
- 公民館
- カフェ
- 系列園
- 自団体が運営する活動拠点
- 保育園が入っている施設の別フロア

保育園こども食堂事業実施規模

1回の開催では21～50名の規模の実施が多い

(保育園こども食堂を実施した場合) イートイン・テイクアウト合わせて1回の平均支援者数(提供食数)はどのくらいですか。

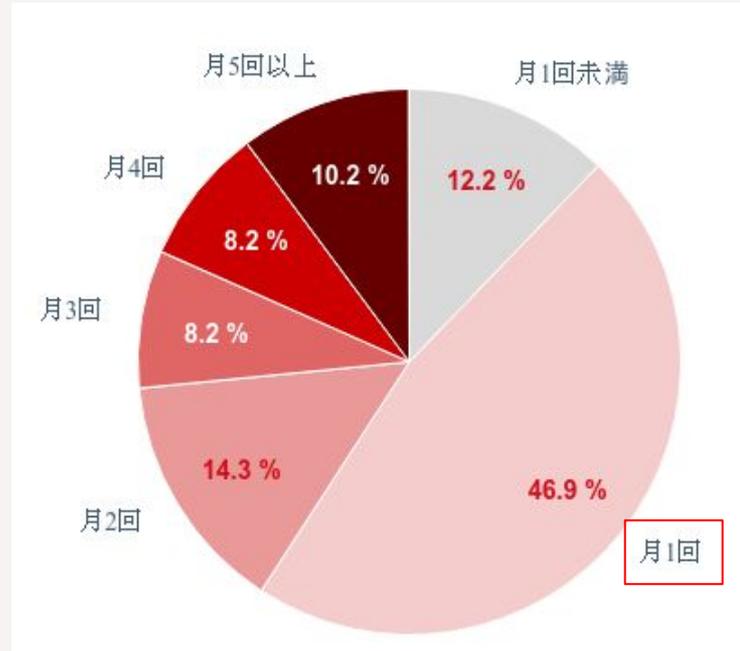


50人以下の実施が
65.3%

保育園こども食堂事業実施頻度

最も多い回答は月一回の実施（46.9%）

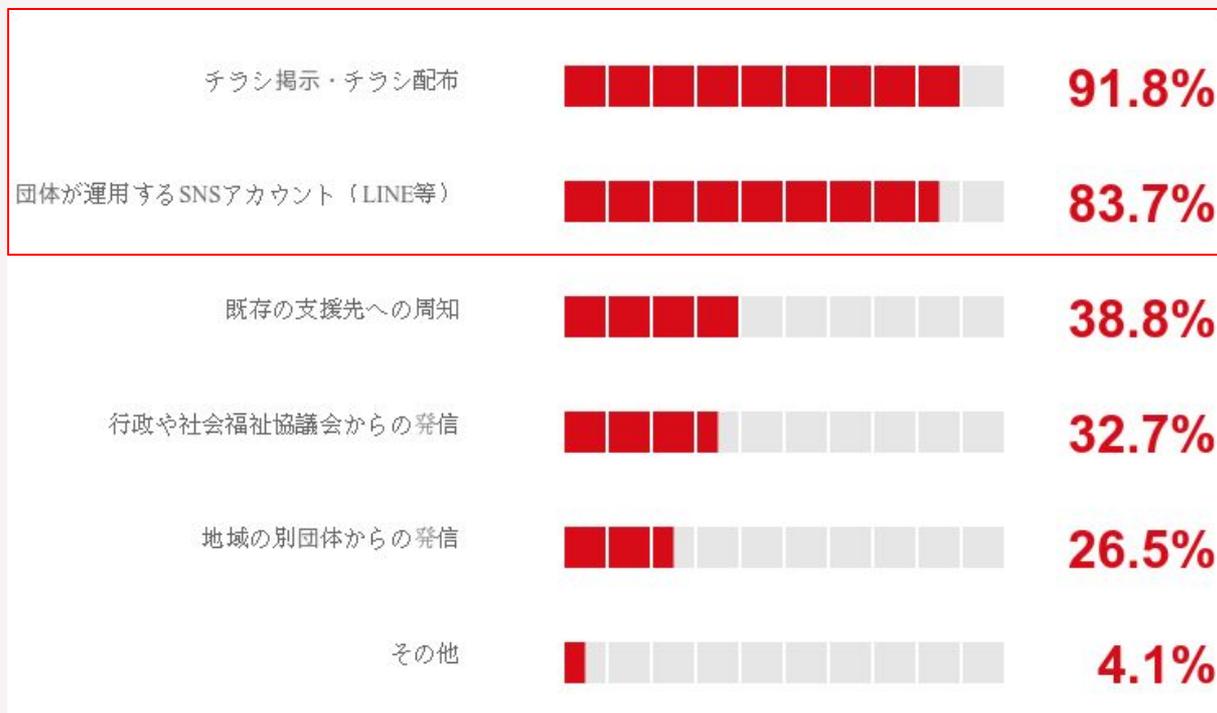
（保育園こども食堂を実施した場合）活動の頻度はどのくらいですか



保育園こども食堂事業の周知方法

チラシ・SNSでの告知を行う団体が多い

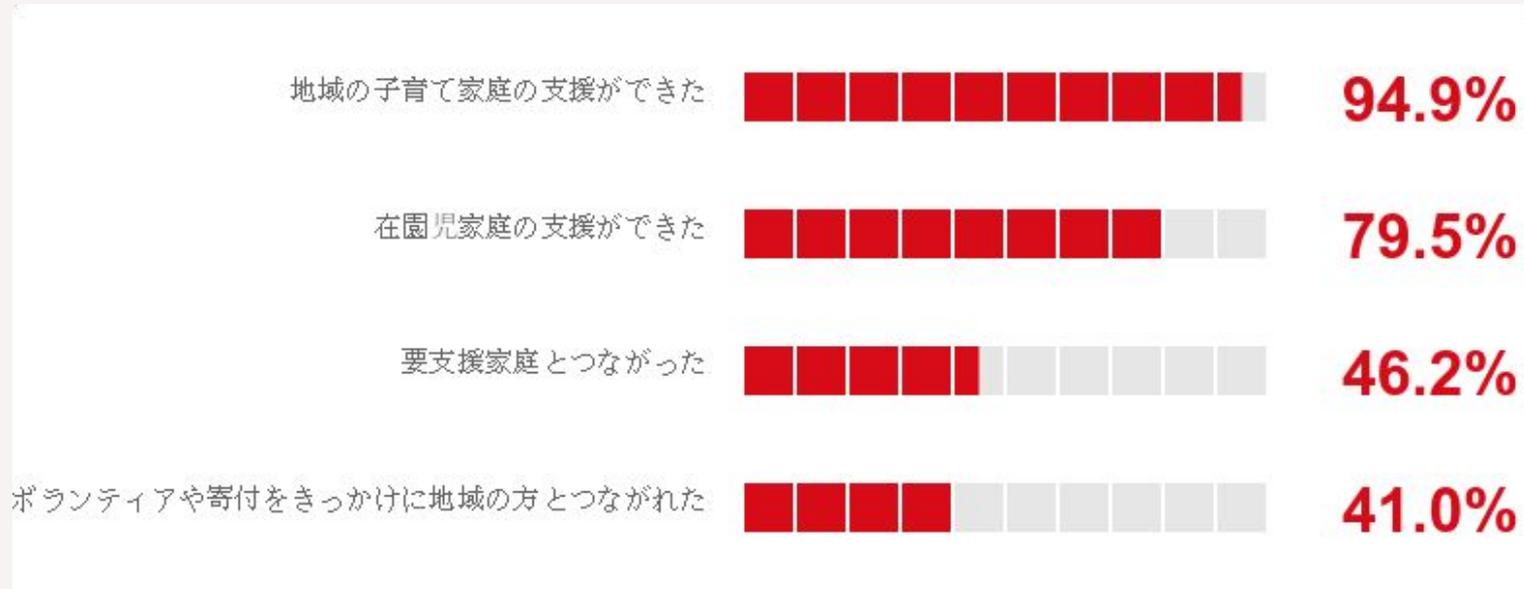
(保育園こども食堂を実施した場合) どのように募集や案内をしましたか



保育園こども食堂事業の効果（1/3）

約95%の団体が地域の子育て家庭の支援をできたと実感

（保育園こども食堂を実施した場合）実際に、保育園こども食堂を実施したことで、どんな効果が得られましたか

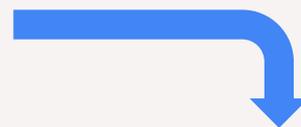


保育園こども食堂事業の効果（2/3）

園の認知度向上とスタッフのモチベーション向上は 期待していた以上の効果

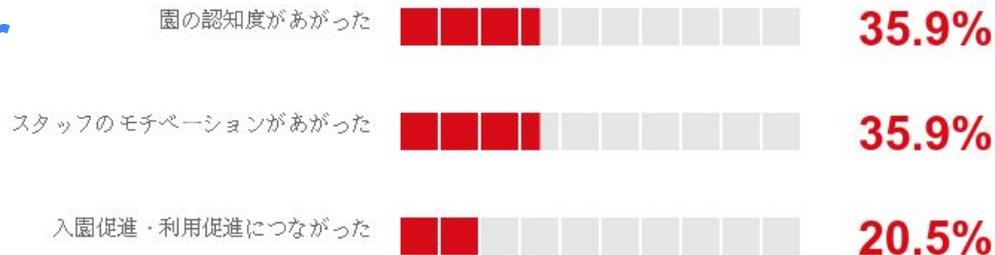
今回の助成事業を実施する前に、保育園を起点とした食支援活動に期待していたことを教えてください

Before



実際に、保育園こども食堂を実施したことで、どんな効果が得られましたか

After



保育園こども食堂事業の効果（3/3）

【その他の回答】

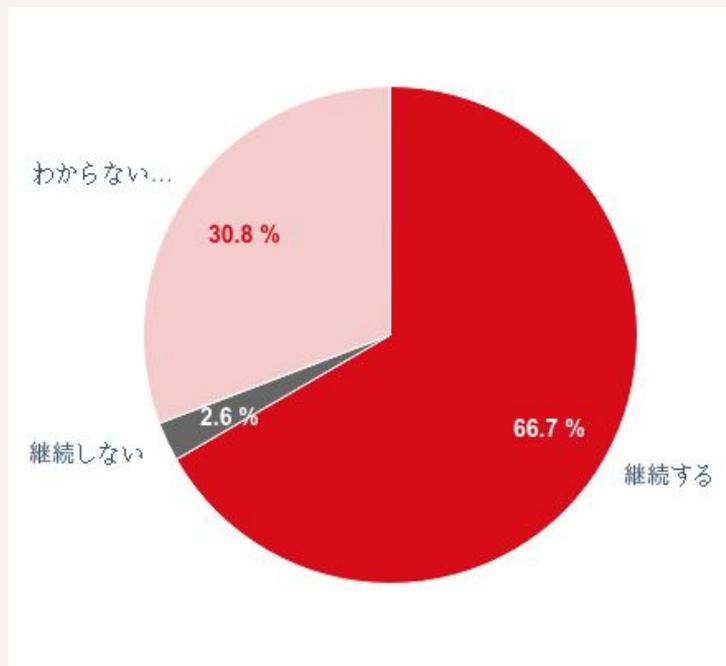
（保育園こども食堂を実施した場合）実際に、保育園こども食堂を実施したことで、どんな効果が得られましたか

- 参加家族が食に関し意識を高めてくれたこと！
- 在園児以外の地域の子育て家庭と繋がり、保育よりもさらに広く子育て支援を行うことができた
- 離乳食提供することへの社会的な関心の高まり
- こどもの食域が広がった
- 子どもの居場所ができた

保育園こども食堂事業 次年度計画について (1/2)

7割弱が次年度も継続する意思あり

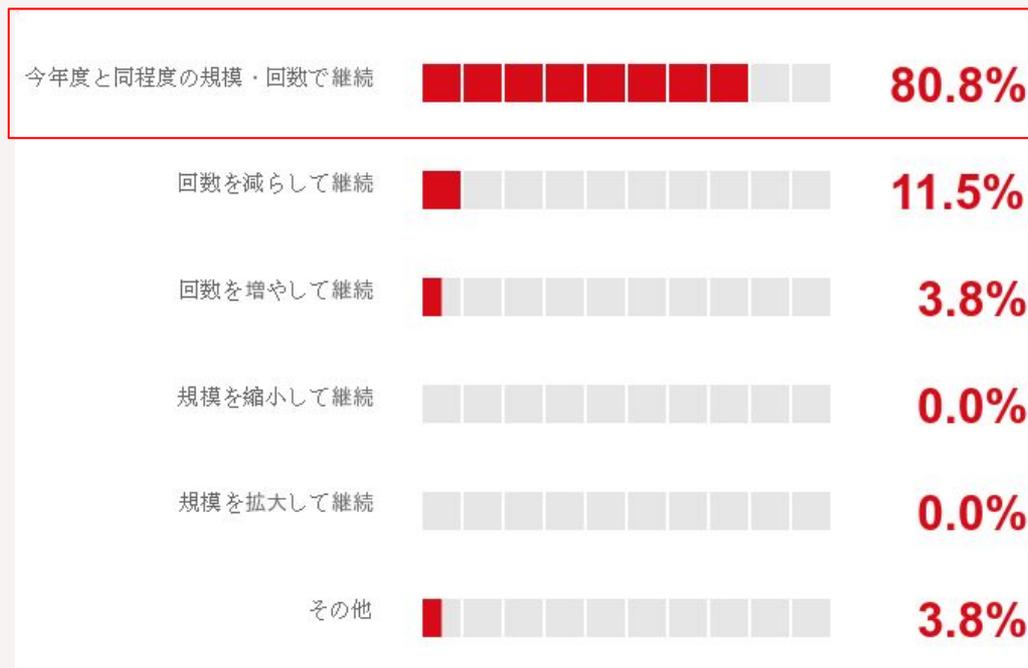
(保育園こども食堂を実施した場合) 次年度も継続しますか



保育園こども食堂事業 次年度計画について（2/2）

多くの団体が**昨年度と同規模・回数**での実施を予定

（継続する場合）次年度の予定について教えてください



保育園こども食堂事業 継続意向の理由（1/5）

保育園と保護者がともに、こどもの成長を支える仕組み

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- 親子で楽しく食事をとれる場の提供をきっかけに、**育児等の相談をしあえる場所を提供**したい。
- 食を通じての学びや交流は、子どもたちの成長において欠かせない要素です。**健康でバランスの取れた食事を提供することにより、子どもたちの身体的な成長だけでなく、食べることの楽しさや大切さを知る機会**を提供しました。
- 保護者の方々にも参加いただくことで、**家庭と保育園との連携を深め、地域社会における子育て支援の一環としても機能**しています。
- 子どもたちはもちろん、**保護者の皆様や地域社会にもより良い影響を与えられる**と実感しています。子どもたちの笑顔あふれる食卓をこれからも多くの方々と共有できるよう、引き続き皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

保育園こども食堂事業 継続意向の理由（2/5）

地域で支援を必要としている家庭とつながる

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- 在園児含む地域の方々にご好評いただき、**利用される方の中には、もともと支援をしたいと考えていた方もいらっしゃった。**
- 当地域は、行政（〇〇市）による子育て支援が全く届いていない場所で、今後もその状況に何ら変わりがないことから、**当法人で子育て世帯をバックアップしていきたい**と考える。

保育園こども食堂事業 継続意向の理由（3/5）

活動の継続で、まだリーチできていない家庭にも支援を届けたい

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- まだまだ**出逢えていない支援の必要な家庭がいる**ので、継続することで救いあげることができると考えるため。
 - 在園児の**家庭状況の変化に気づく**ことができる。
 - 地域の方々との繋がりが増え、災害時など連携をもつことができるようになる。
 - 行政や関係機関に実情を把握してもらうことができる。
- 地域、在園児共に、**場があることが支援に繋がられる**と予想している。ただ、予想の範疇からまだ抜けていない実績がない状態なので継続して状況見ていきたいと思っている。
- **定期的開催し続ける**ことで、より要支援世帯の方にも情報がゆき届き、支援を受けていただけるのではないかと考えています。

保育園こども食堂事業 継続意向の理由（4/5）

職員のモチベーション向上にも役立つ

（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- 在園かどうかに関わらず、多数の方がご参加下さり、**笑顔溢れる素晴らしい時間を過ごすことができ、職員のモチベーションが上がった**、というのが大きな理由です。
- 社会的にも求められていると感じられたから。園庭がない小規模保育事業所で、地域支援としてできることの一つと考えられたから。**職員の保護者支援の意識向上にも役立つ**から。

保育園こども食堂事業 次年度計画について（5/5）

地域で広がる連携の輪

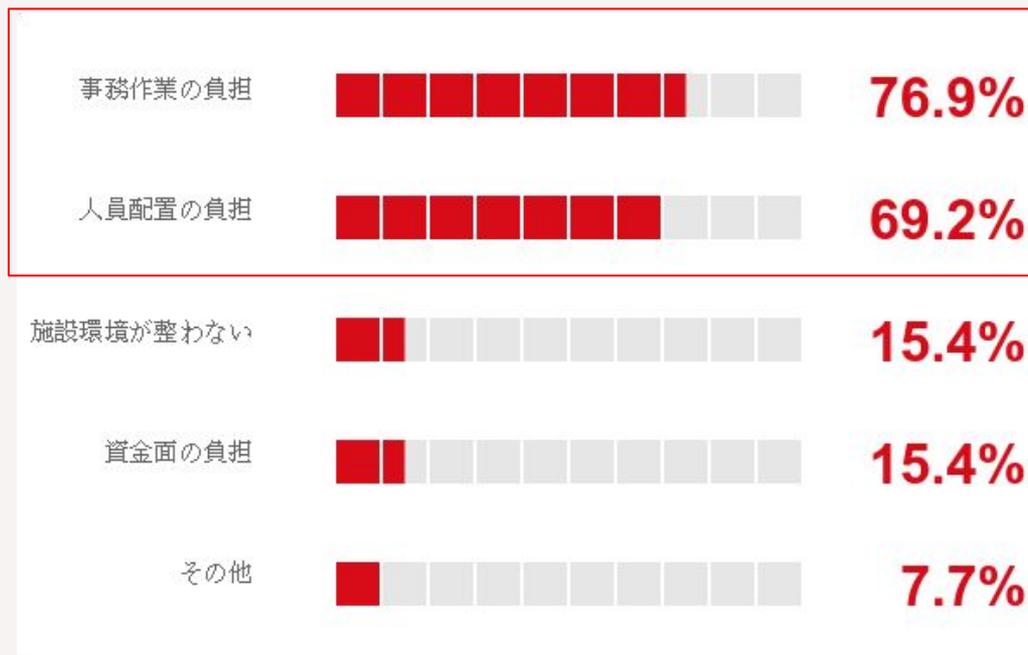
（継続する場合）その理由について教えてください（任意回答）

- 今年度より始めた**保育園こども食堂の成果が想像以上に出たため、支援が途切れないためにもぜひ継続していきたい**と思っています。**1年目にもかかわらず地域の期待値や要望も非常に多く**、同程度の規模、回数で開催するためにも引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い致します。
- 子ども食堂を開催するデメリットよりメリットの方が大きいから。**活動によって関係人口を増やしたい**から。
- 食材を購入した近隣店舗や地域の保護者から、次回の実施を期待する声が多いため。また、**同様の活動をされてきた別団体と合同で開催する提案をいただいている**ため。

保育園こども食堂事業 継続への課題

事務作業や人員配置の負担が継続への課題

(継続しない場合 / 分からない・未定の場合) 継続しない理由について教えてください

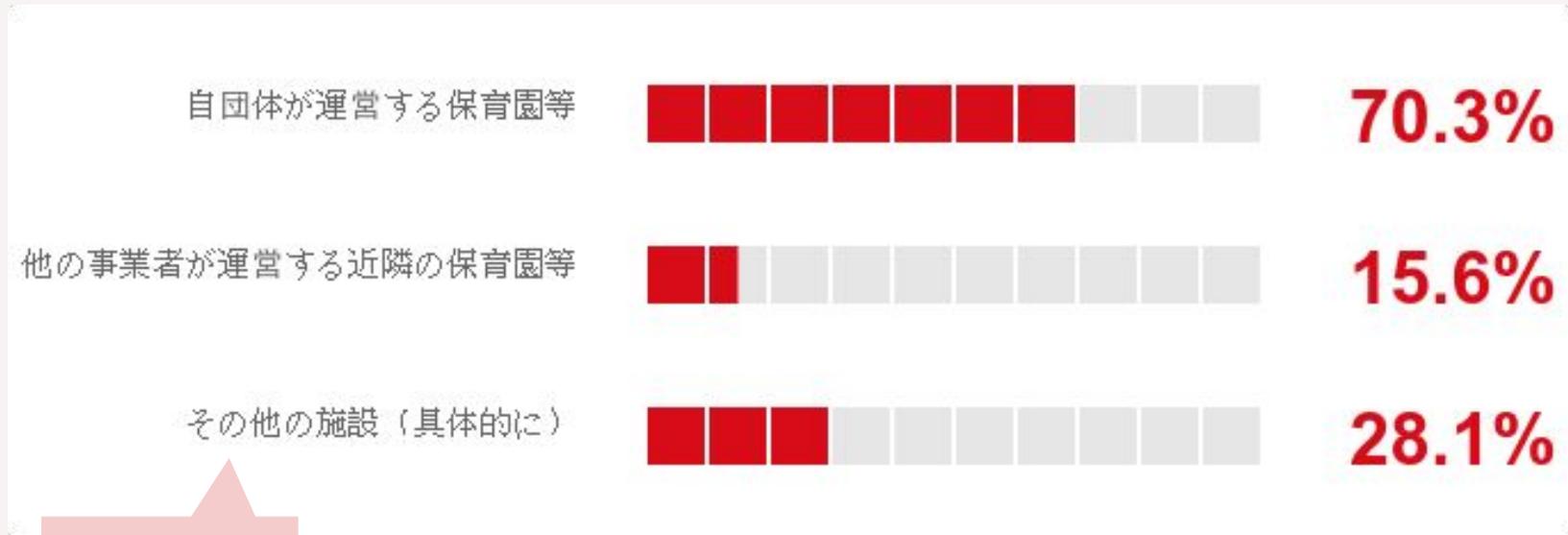


フードパントリー

フードパントリー事業の開催場所について（1/2）

自団体の保育園が活動拠点として最多

（フードパントリーを実施した場合）実施した場所はどこですか



次ページに詳細

フードパントリー事業の開催場所について (2/2)

自治体施設やイベントとも連携して実施している

【その他の回答】 (フードパントリーを実施した場合) 実施した場所はどこですか

- 学童保育
- 市役所
- 近隣の寺院、近隣の公園
- 公民館
- 近隣の学校
- 母子支援施設内
- 地域のイベントや近隣のお祭り
ブース
- 認定NPO法人が運営する地域拠点
- フリースクール
- フードバンク団体が実施
- 保育園のある施設の別室
- 系列園
- 保育園から近くの飲食店

フードパントリー事業の利用世帯数

1回の平均支援世帯数は **11～30世帯**が中心

(フードパントリーを実施した場合) 1回の平均支援世帯数はどのくらいですか



フードパントリー事業の活動頻度

最も多い回答は月1回（42.2%）

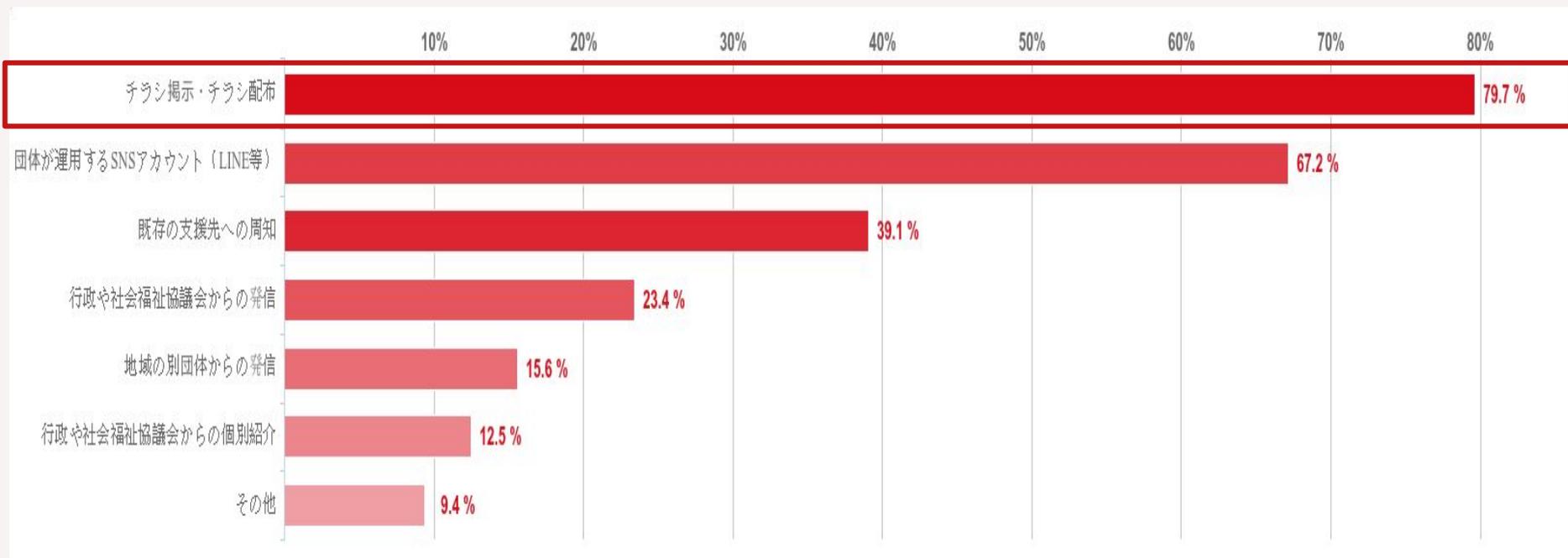
（フードパントリーを実施した場合）活動の頻度はどのくらいですか



フードパントリー事業の広報手段

チラシによる広報が最多の利用方法

(フードパントリーを実施した場合) どのように募集や案内をしましたか



フードパントリー事業の得られた効果(1/2)

地域の子育て家庭の支援ができたとの回答が最多

(フードパントリーを実施した場合) フードパントリーを実施したことで得られた効果について教えてください

地域の子育て家庭の支援ができた



95.7%

在園児家庭の支援ができた



53.2%

要支援家庭とつながった



40.4%

フードパントリー事業の得られた効果(2/2)

園の認知度向上や地域とのつながり、入園促進の効果も！

(フードパントリーを実施した場合) フードパントリーを実施したことで得られた効果について教えてください

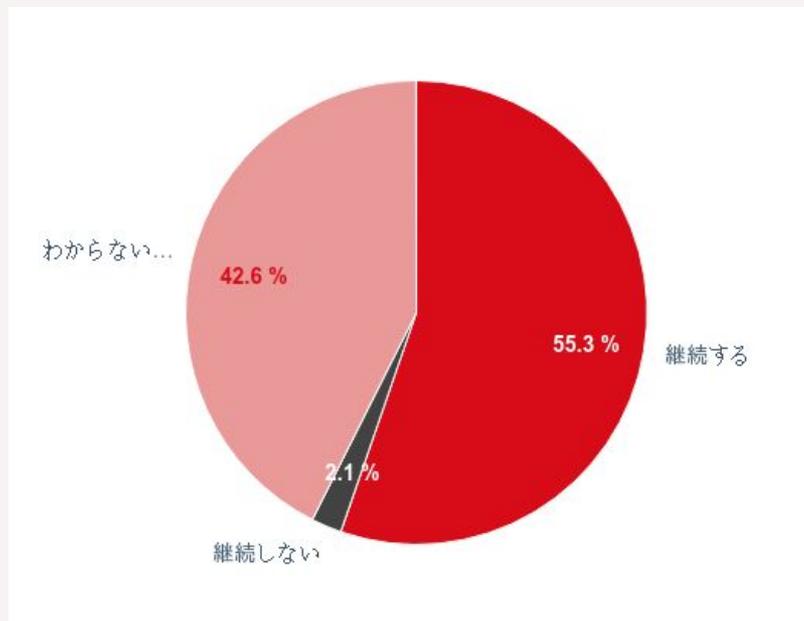


フードパントリー事業の継続意欲

来年度も半数以上が継続の意向

一方で、わからない・未定の回答も40%以上

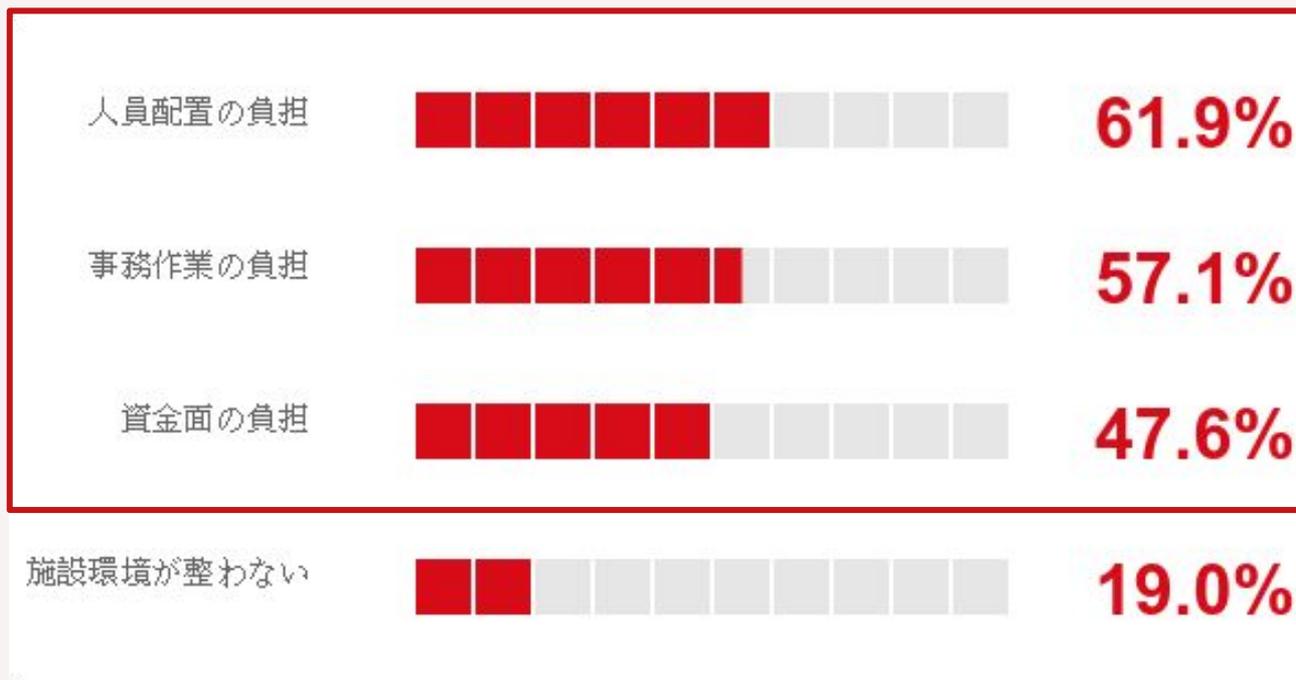
(フードパントリーを実施した場合) 次年度も継続しますか



フードパントリー事業の実施の課題

継続的な運営への課題：人員配置・事務作業・資金面

(継続しない場合／分からない・未定の場合) 継続しない理由について教えてください

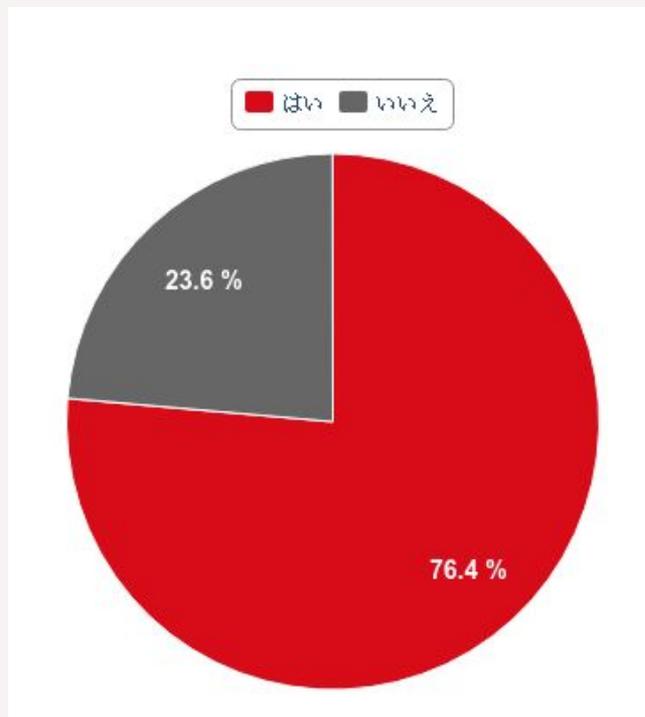


家庭支援

食支援事業実施中の要支援家庭への対応

76.4%が何らかの対応を行った

本助成事業を活用した事業の中で「支援が必要な家庭」への対応は発生しましたか



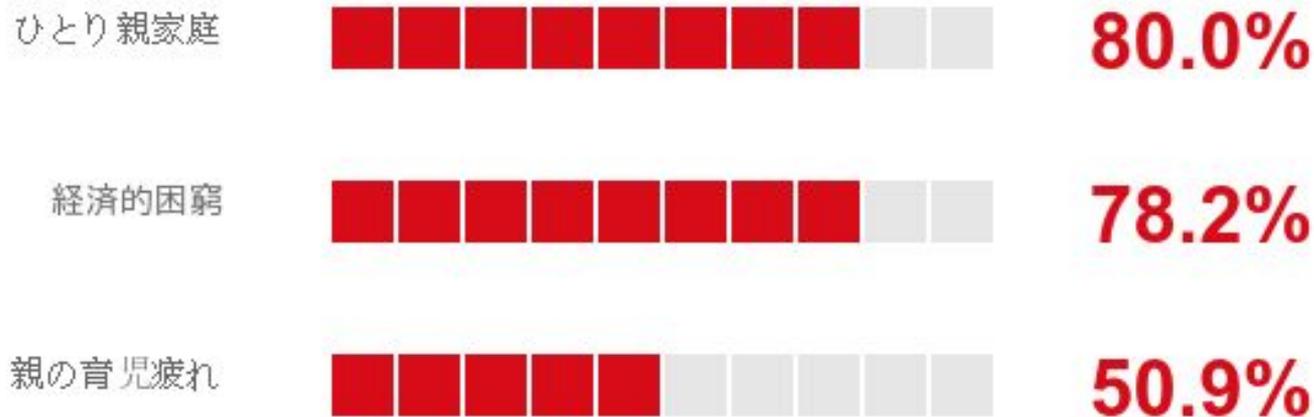
はい : 76.4%

いいえ : 23.6%

事業を実施してつながった家庭（1/2）

ひとり親家庭／経済的困窮／育児疲れ家庭とつながる には特に有効

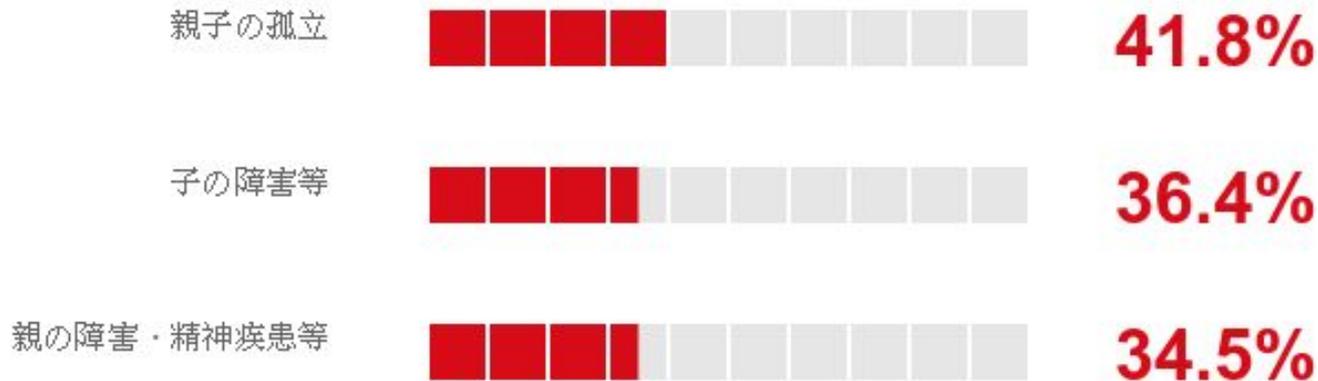
（本助成事業を活用した事業の中で「支援が必要な家庭」への対応は発生しましたか：はいと答えた場合）どのような家庭でしたか



事業を実施してつながった家庭（2/2）

孤立した親子や、障害者家庭への支援にも有効

（本助成事業を活用した事業の中で「支援が必要な家庭」への対応は発生しましたか：はいと答えた場合）どのような家庭でしたか



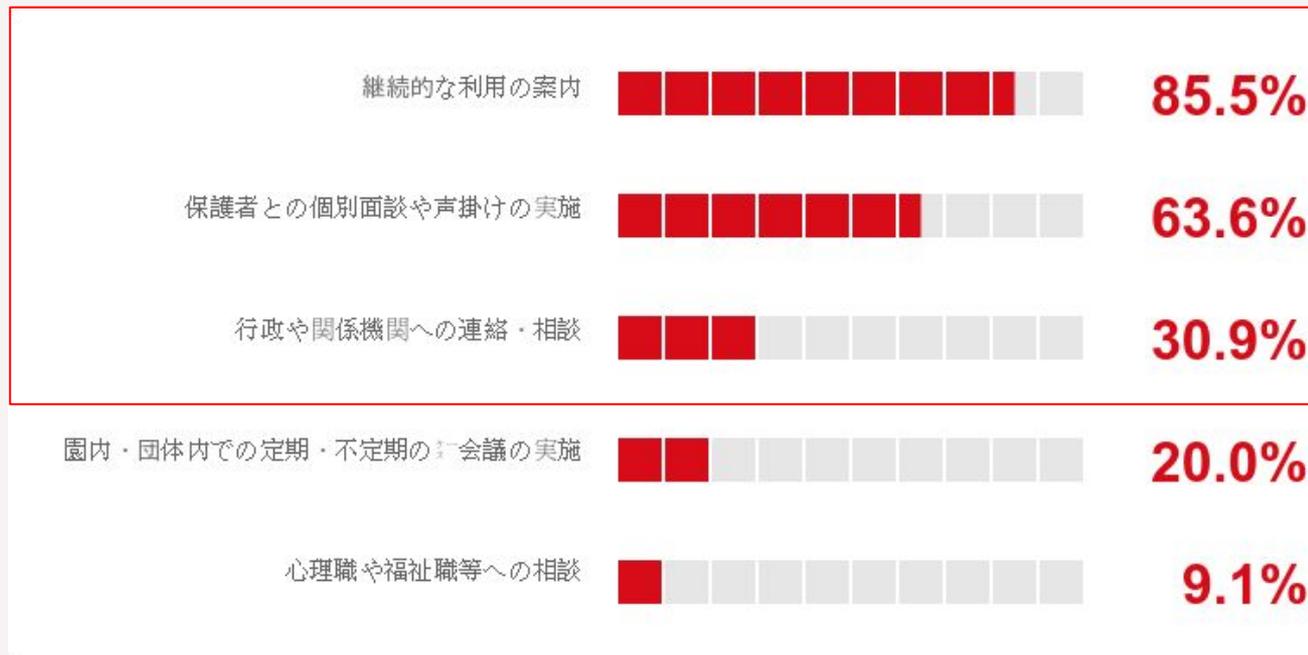
その他、
ケース会議家庭や、
産前産後家庭とも
つながったケースも

「支援が必要な家庭」への対応方法(1/2)

食支援活動は見守り支援

→個別面談につなぐ→行政や関係機関へ連携

(本助成事業を活用した事業の中で「支援が必要な家庭」への対応は発生しましたか：はいと答えた場合) どのように対応しましたか



「支援が必要な家庭」への対応方法(2/2)

見守り・声掛け・行政連携を行うことで継続的なコネクション形成

(本助成事業を活用した事業の中で「支援が必要な家庭」への対応は発生しましたか：はいと答えた場合) どのように対応しましたか

【その他の回答】

- 何らかの課題を抱えているご家庭であることは申し込みの段階で伝わってきたが、当日取りにいらっしゃなかったこともあり実態がつかめなかった
- 申込締め切りを過ぎていても、こちらから声掛けし取りに来てもらうこともあった
- 法人内の別事業(学習支援、保護者への相談支援)に繋ぎ、継続支援中。
- おやこ食堂開催の場に、**行政の担当者が来て、相談会を実施している**。
- **散歩の際にお会いする** こともあるのでそこで話を聞くなど
- 保育園利用の案内や、法人の実施している別イベントへの紹介。
- こども自身への開催通知と参加勧奨(学校を通じたチラシの配布・こどもたち同士の声かけ等)

今後の「保育園の多機能化」に向けて（1/2）

未就園児の保育／一時預かり／ソーシャルワーク を実施・検討している園が過半数

「保育園の多機能化」の側面から今後運営している保育園等で取り組みたい事業、現在取り組んでいる事業について教えてください



今後の「保育園の多機能化」に向けて（2/2）

障害児・医療的ケア児の保育/アウトリーチ/産後ケア にも関心がある

「保育園の多機能化」の側面から今後運営している保育園等で取り組みたい事業、現在取り組んでいる事業について教えてください



食支援と組み合わせた「保育園の多機能化」の可能性も



利用者アンケート調査報告書

保育園こども食堂の効果と

利用者の声

2024.5.28

こどもたちのために、日本を変える

Florence

調査実施概要

< 保育園を起点とした食支援活動の利用者ニーズ・状況に関する調査・分析 >

調査方法： 当助成金の中間支援団体であるフローレンスがアンケートを作成。食支援活動の実施団体を経由して、利用者にアンケートを回答してもらう。

実施概要： 本調査は、当助成金を活用した食支援事業（こども食堂、パントリー、宅食）を利用している家庭の実態を詳しく把握することを目的として行う。さらに、食支援事業を利用している家庭のニーズや家庭状況を明らかにして、今後の保育園多機能化の可能性を探り、より効果的な支援活動を展開するための基礎資料を得ることを目指す。

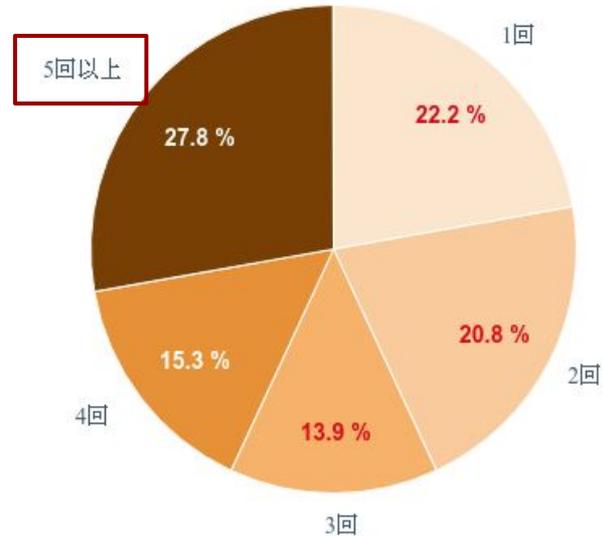
アンケート調査概要

項目	内容
調査名称	保育園を起点とした食支援活動に関する利用者アンケート
調査目的	<p>○当助成金を活用した食支援事業（こども食堂、パントリー、宅食）を利用している家庭の実態を把握すること。この調査では、家庭の生活状況、食支援事業の利用頻度や利用理由などを詳しく調査し、利用家庭の実際の生活状況を把握することを目指す。</p> <p>○上記の食支援事業を利用している家庭がどのようなニーズを持っているかを明らかにすること。具体的には、現在の食支援活動に対する満足度や改善点、追加して欲しいサービスやサポート内容、参加する際の障壁や希望する支援内容などを調査しました。そして、より効果的な食支援活動や保育園多機能化を展開するための基礎資料とすることを目的とする。</p>
調査方法	オンラインでのアンケート回答（中間支援法人：認定NPO法人フローレンス経由の助成金を受けて活動した団体を通じての利用者へアンケート配布）
調査期間	2024年3月31日(木)～4月23日(火)
調査対象	当助成金の事業を利用した家庭
調査対象者数	254件

保育園こども食堂利用者の利用頻度

助成期間中（3～5ヶ月）に多くの家庭が5回以上利用

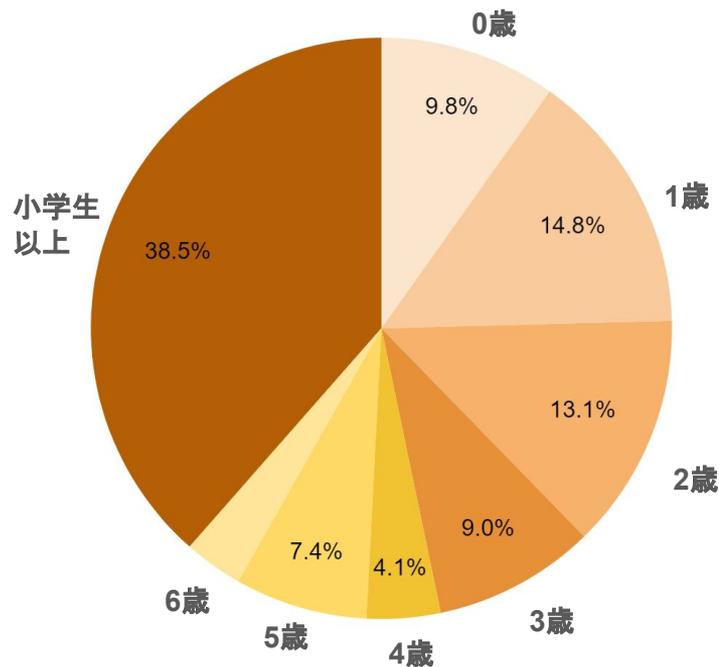
Q2で「ある」と答えた方（1, 2を選択した方）：「保育園こども食堂」を何回利用しましたか？
【イートイン・テイクアウトともに利用したことがある場合は、合計の回数を教えてください。】



保育園こども食堂利用者のお子さんの状況（2/2）

未就学児の利用が6割強

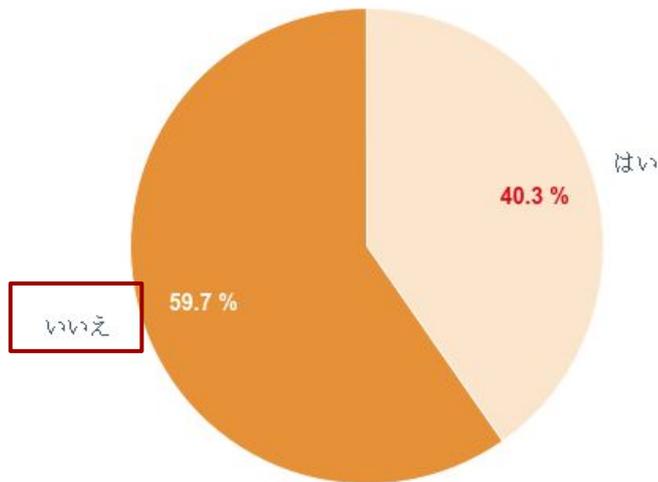
Q2で「ある」と答えた方（1, 2を選択した方）：「保育園こども食堂」を利用されたお子さんの人数と、お子さんの現在の年齢を教えてください。



保育園こども食堂利用者の広がり

こども食堂の広がり：**利用者の約60%が在園児家庭でない**

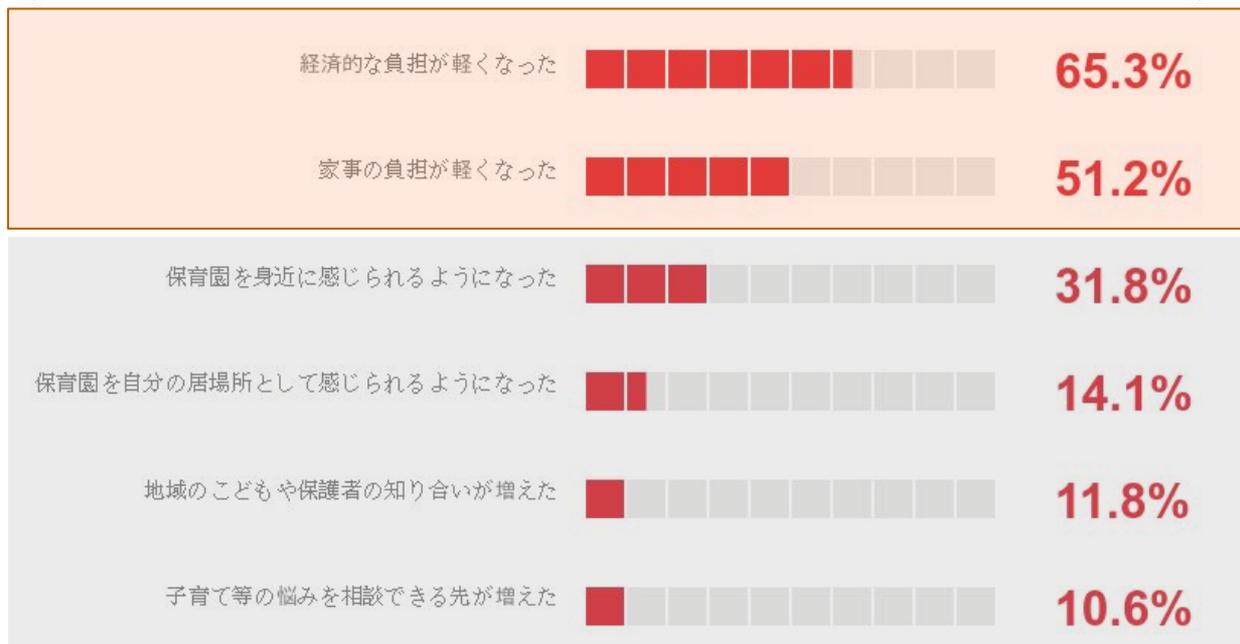
Q2で「ある」と答えた方（1, 2を選択した方）：
「保育園こども食堂」の実施園に通われているお子さんはいらっしゃいますか？



保育園こども食堂利用者の変化（1/2）

経済的・家事の負担感が軽減

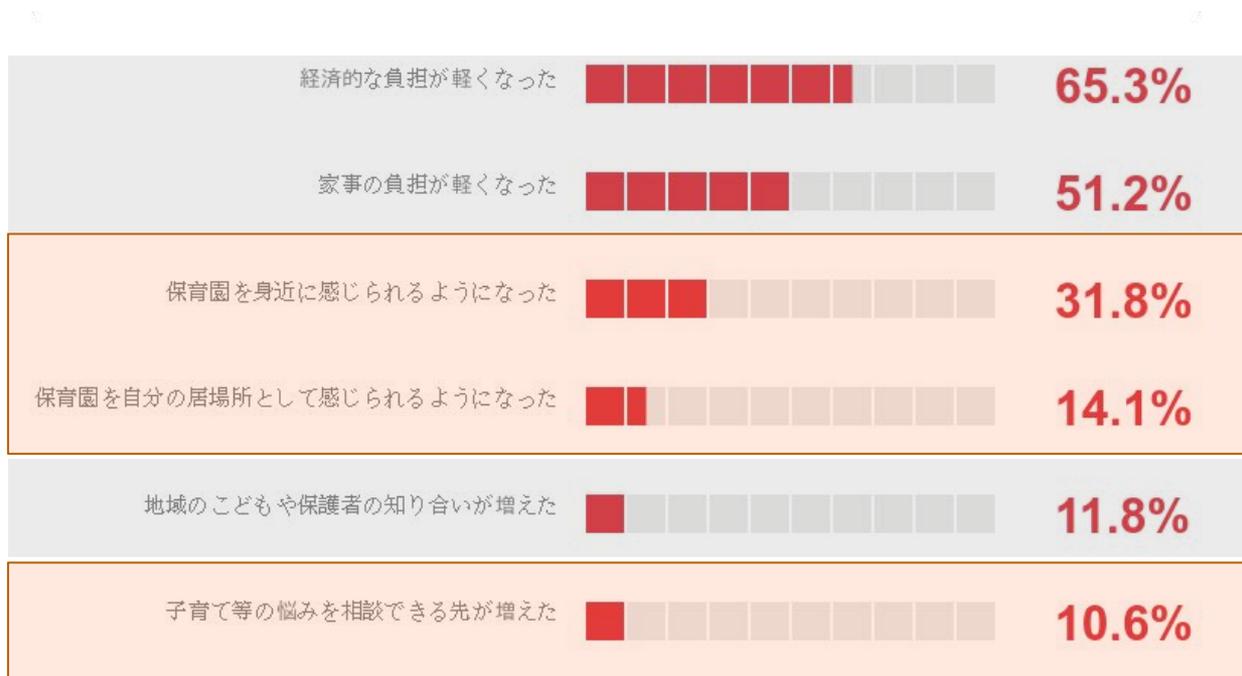
「保育園を起点とした食支援活動」（保育園こども食堂、保育園を起点としたフードパントリーや宅食）を利用して、どんな変化がありましたか。



保育園こども食堂利用者の変化（2/2）

保育園が身近な居場所・相談先となった

「保育園を起点とした食支援活動」（保育園こども食堂、保育園を起点としたフードパントリーや宅食）を利用して、どんな変化がありましたか。



経済的負担の軽減

- **オムツやミルクは絶対必要な物** なので、家計としても助かった(女 / 35～39歳)
- 子どもを育てるにはこれほどお金がかかるのかと驚く毎日 です。また **居住する自治体により受けられるサービスが天と地ほど違う** ことにも愕然としています。フードパントリーで食料、おむつなど日用品の提供を受けられたのは本当に助かりました。(女 / 40～44歳)
- **ひとり親しか利用できないイメージがあった** のですが違うとわかったのでフードパントリーに参加させていただきました。色々な種類の食材があり楽しいし食費もだいぶ助かりました。
- 食費高騰のため、家計が少し助かった。その分、普段買わないようなフルーツを買って娘に食べさせることができた。(女/30～34歳)
- **普段余裕がなくてあげられない、おやつやジュースを子供たちが喜んだ**。(女/40～44歳)

ゆっくり安心してこどもと過ごせる時間の提供

- 仕事が忙しく、料理が苦手なこともあるので 利用させていただいて負担が減り、子供とゆっくり過ごす時間が少し増えました。ごはんを作らないと。栄養あるもの食べさせないと。という 追い込まれている感覚が軽減されました。(女/40~44歳)
- 本当は色々外出などしたいのですが、お弁当作るのは大変ですし、かといって外食は高いし、お子様ランチ等は揚げ物ばかりで栄養バランスも微妙で億劫なのですが、親子で安心して食べれたので楽しかったです。(女/40~44歳)
- **ごはんを作る時間が無い分、子どものお世話をしあげられるし、気持ちの余裕が持てた** 。子ども達は外食気分を楽しめていてとても嬉しかったです。このような活動が続くと助かります。
(女/35~39歳)

孤独な育児から社会的つながりへ

- たくさんの方と交流できる場所(女／45～49歳)
- 生産者様や実施者からの想いを聞いたことが良かったです。また、**みんなが繋がって社会が成り立っていることを再認識**したことが良かったです。(男／45～49歳)
- **地域が子どもの存在を認め歓迎している空気を肌で感じることで心強い気持ちになりました**。(女／40～44歳)
- 職員さんの丁寧な対応やちょっと会話を交わすだけでも **気持ちが明るくなった**。
- **地域に、知人が少ない**ので、卒園したあとに、保育園の先生や、久しぶりに会う顔見知りのお母さんと、お話できて、**孤独感などが薄れ、嬉しかった**。(女/45～49歳)
- 同じような病気の子と交流もでき、フードパントリーもしていただけて助かりました。

育児相談や情報交換の場として

- 先生や他の親御さんと**子ども悩みや情報交換** を話せた事が収穫だった。（女／40～44歳）
- **離乳食についての相談** などさせてもらい、ありがたかったです！（女／35～39歳）
- **絵本の選び方** や子育ての悩みなどの相談にもものっていただき、とてもありがたかったです。
（女／35～39歳）

食育の広がり

- フードパントリーでお米を頂いてから、**子供がお米を沢山食べるようになりました**。
(女/35~39歳)
- 夕食を作らなくていい事、さらに『**保育園のお弁当だよ!**』と言うと、**子供が喜んでくれる** 事です。お米を食べる量も増えました。いい事尽くしで感謝です。(女/ 35~39歳)
- 普段自分では買わない食品や飲料をいただけて、子供が喜び、**知らなかった子供の好みを知ることができた**。(女/45~49歳)
- 今まで買ったことがなかった食品 (子供用のカレーなど)があり、**偏食気味な子供が拒否することなく食べてくれて助かった**。
- 保育園での食事は、**他の子がしっかり食べているのを見て、自分でスプーンを持ち、集中して食べて**いました。

未就園児家庭が園を知るきっかけに

- 保育園入園前の子どもが保育園でも楽しそうに遊んでいる姿が見れて、**保育園に預ける時の心配が減った**。(女/40～44歳)
- 保育園入園前だったため、**保育園のプレ入園のような経験ができてよかった**。(女/35～39歳)
- **保育園のスタッフさんの雰囲気を知ることもできてよかった**です。(女/30～34歳)

本日の流れ

14:00-15:00

事例共有会

1. 保育園こども食堂への期待
こども家庭庁成育局 保育政策課企画法令係長 松田洋平様
2. アンケート結果共有
認定NPO法人フローレンス 岡野優華
3. 事例共有
社会福祉法人檸檬会レイモンド大萱こども園施設長 中島悦子様
信州こども食堂ネットワーク中南信地域 田口恵子様
認定こども園深志理事長 海野暁光様
4. 今後の予定 & 質疑

15:00-15:30

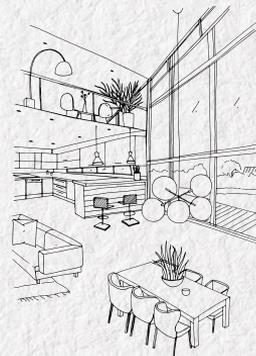
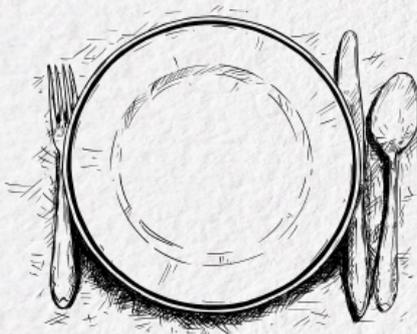
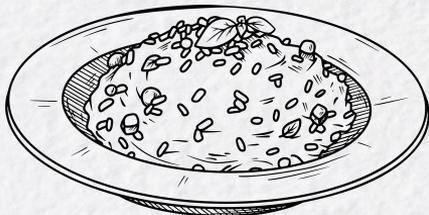
意見交換会

事前
申込制

申し込んでいないけど参加したい方も、お気軽にメッセージにてお申し付けください😊



保育園等におけるこども食堂の取り組み事例



保育園での食支援活動

～こども食堂&パントリー～

社会福祉法人檸檬会

レイモンド大萱 (おおがや)こども園施設長__中島悦子さん

聞きたい3つのこと

活動のきっかけ



この助成金の申し込み前から
取り組んでいたこと

園内スタッフの巻き込み方



”あること”を意識して
園内スタッフとともに活動

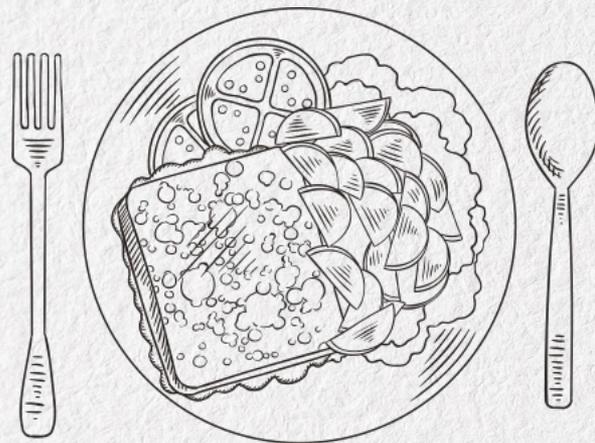
利用者からの反応



どのようなお声が利用者
からあったのか？

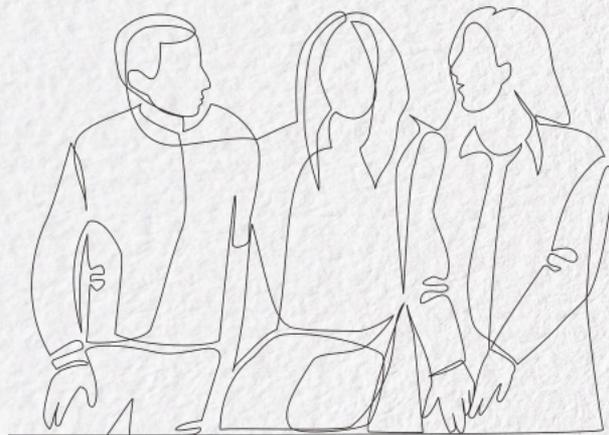
助成金申し込み以前からの地域活動

どのような想いで地域支援活動に
取り組んでいたのか？

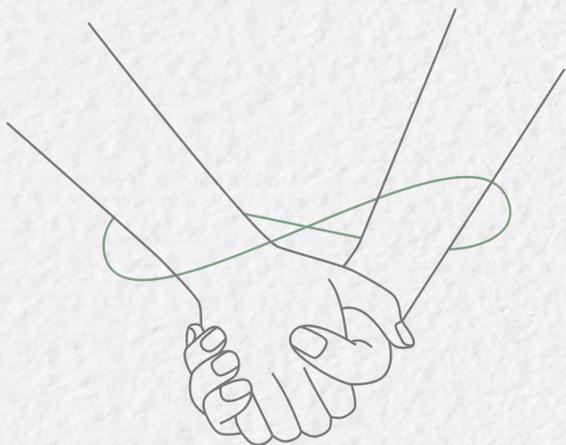


スタッフの”強み”を意識しての巻き込み

保育だけのスキルだけでなく、あなたという人間を引き出す



つながりを継続させる



心配な利用家庭がいた場合

まずはつながりを

そして、食を通じてつながりを継続

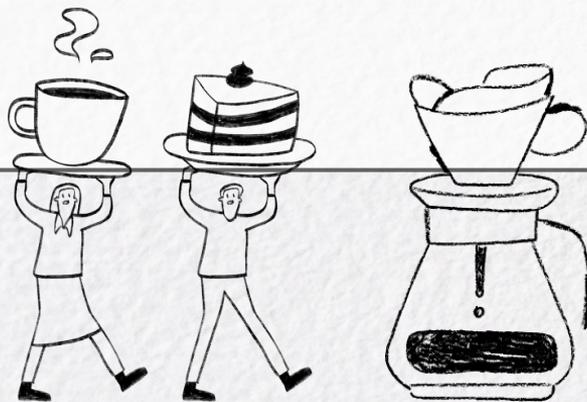
活動風景

レイモンド大萱こども園内での実施風景



Next

続いての事例紹介



連携型の食支援活動

～こども食堂&パントリー&こども宅食～

信州こども食堂ネットワーク中南信地域

田口 恵子さん

認定こども園深志

理事長 海野 暁光さん

聞きたい3つのこと

活動を開始したきっかけ



2つの法人が連携して実施

食支援活動の様子



園での子ども食堂開催で
利用者もより気軽に！？

団体連携で良かったこと



2団体の
良いところを活かして

2つの団体が連携して活動

こども食堂活動団体／こども園が協力して
活動をはじめたきっかけと理由



イメージの変化／気兼ねなく利用できる

周囲を気にすることなく、食事や遊べる環境



双方で役割を分担



こども園／こども食堂実施団体の
良いところを活かしての活動

活動風景

認定こども園深志での実施風景



Thank you!

ありがとうございました！



本日の流れ

14:00-15:00

事例共有会

1. 保育園こども食堂への期待
こども家庭庁成育局 保育政策課企画法令係長 松田洋平様
2. アンケート結果共有
認定NPO法人フローレンス 岡野優華
3. 事例共有
社会福祉法人檸檬会レイモンド大萱こども園施設長 中島悦子様
信州こども食堂ネットワーク中南信地域 田口恵子様
認定こども園深志理事長 海野暁光様

4. 今後の予定&質疑

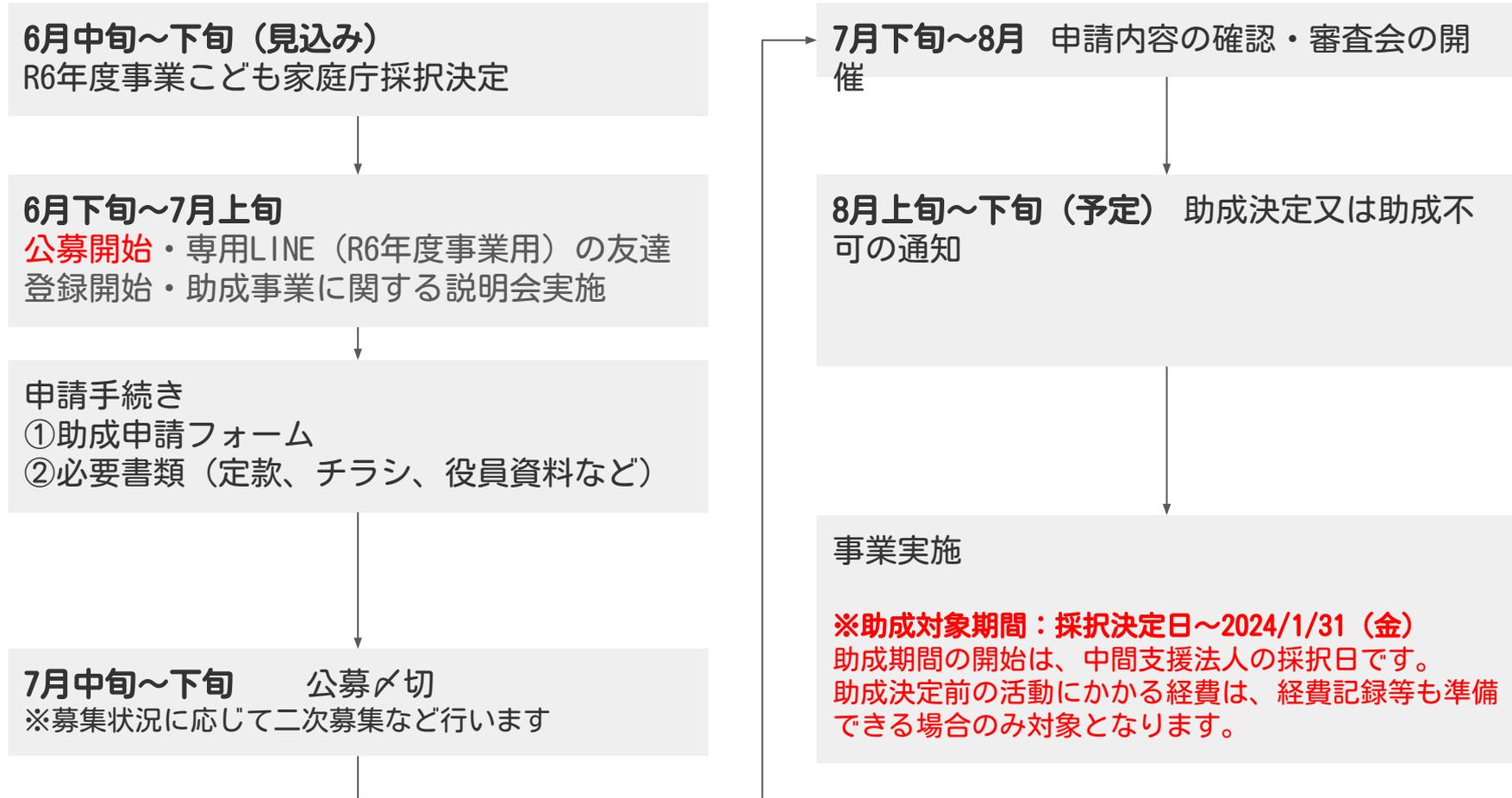
15:00-15:30

意見交換会

事前
申込制

申し込んでいないけど参加したい方も、お気軽にメッセージにてお申し付けください😊

事業スケジュール(仮)



LINEで発信してます！



当助成金の情報やスケジュールについて
ご関心ある方は、是非ともだち登録を！



※R5年度事業用のLINEアカウントです。
R6年度の公募情報等をこちらでも発信します。

アンケートのお願い

本日はお越しいただき、ありがとうございました！
こども食堂の輪を広げていくために、アンケートのご協力をお願いいたします。

